



明治安田生命の永島英器社長(左)と、Wonders & Worriesのキャスリーン・マッキュー氏(右)。フォーラム同日の特別対談にて。

親の重病、どう子どもに伝えるか 米国の専門家が提言

「隠し事は子どもを孤立させる」信頼と回復力育む対話を



明治安田総合研究所

明治安田総合研究所・Hope Tree
合同フォーラム開催、全国から約280名

親ががんなどの重い病気と診断されたとき、家族は治療方針の決定や生活変化への対応に追われる中、多くの親が「子どもに病気のことをどう伝えるか」という深刻な悩みに直面する。子どもを心配させたくない思いから事実を隠そうとする親も少なくないが、専門家は、隠し事こそが子どもの不安を増大させ、家族の危機を乗り越える力を奪いかねないと警鐘を鳴らしている。

この課題に焦点を当てた「明治安田総合研究所 特別フォーラム 2025 / Hope Tree フォーラム 2025」が11月14日、東京・丸の内内の明治生命館で開催された。株式会社明治安田総合研究所と、病気の子ともと家族を支援する特定非営利活動法人Hope Treeが合同で主催し、保険会社の営業職員、医療従事者、当事者家族など約280名が全国から集まった。本記事は、このフォーラムの内容と議論を再編集したものである。

「子どもは必ず気付いている」

米国の非営利団体「Wonders & Worries」から、この分野で43年の経験を持つパイオニアであるキャスリーン・マッキュー氏（認定チャイルド・ライフ・スペシャリスト（CCLS）、ソーシャルワーカー）と、同団体の全米プログラムディレクターを務めるキム・フライヤー氏（CCLS）の2名の世界的権威が招聘された。

両氏が強調したのは、「子どもは家族の一員であり、家族に深刻なことが起きているとき、子どもは必ず気付いている」という事実だ。親が隠そうとしても、子どもは家庭の雰囲気の変化から異変を察知する。キャスリーン氏は、「情報が与えられないと子どもは空白を埋めるために最悪のシナリオを想像したり、『自分のせいだ』で親が病気になった」と誤解することがある」と指摘

した。隠し事は子どもを孤立させ、不必要な罪悪感や恐怖心を植え付けてしまう危険性がある。

研究によれば、年齢に応じた正しい情報と、状況に向き合うための対処（コーピングスキル）を得られた子どもは、何も知らされていない子どもよりも、はるかに上手に危機を乗り越えられる。キム氏は、親が誠実に事実を伝えることが、家族の信頼関係を維持し、「子どもの精神的な回復力・しなやかさを育む基盤となる」と力説した。

研究によれば、年齢に応じた正しい情報と、状況に向き合うための対処（コーピングスキル）を得られた子どもは、何も知らされていない子どもよりも、はるかに上手に危機を乗り越えられる。キム氏は、親が誠実に事実を伝えることが、家族の信頼関係を維持し、「子どもの精神的な回復力・しなやかさを育む基盤となる」と力説した。

具体的なアプローチと継続的な対話

深刻な事実を伝える方法として、子どもの発達段階に応じた具体的なアプローチが紹介された。幼い子どもには絵本や人形で視覚的にも

に説明し、学齢期の子どもには、病名や治療計画を伝え、思春期の子どもに対しては、一人の人格として尊重し、感情表現を促すなどの方法が有効とされた。また、一度伝えたら終わりではなく、継続的な対話の重要性も強調された。「事実を知ることが、子どもが次に起こりうるつらい出来事や死別に対して心の準備をし、希望を失わずに状況に適応していく助けになる」と語った。

響き合う当事者の声と共感の涙

後半では、参加者からの切実な声が共有され、共感の涙が見られた。両氏は「どのような状況であっても、対話を始めるのに遅すぎることはない」と参加者を勇気づけた。

社会課題解決と企業成長の「好循環」

フォーラム開催にあわせ、キャスリーン氏は明治安田生命の永島英器社長と特別対談を実施した。永島社長から損得勘定でなく偶発的な感情が「利他」との考えが示され、従業員が病気の親を持つ子どもを支援することが、同社のパーパス（存在意義）や社会に対する価値を明確にし、新たな社会課題の解決につながる

ことが、まさに持続可能な社会を実現する「循環」の核となる」との認識を示した。最後に、多くの共感の涙を流せたことに感動したと締めくくった。キャスリーン氏からは同社向けのオリジナルプログラム提供の意思が示された。

社長は、『社会貢献』と『従業員の幸福・やりがい・気付き』、そして『企業成長』が相互に良い影響を与え合

うことが、まさに持続可能な社会を実現する「循環」の核となる」との認識を示した。最後に、多くの共感の涙を流せたことに感動したと締めくくった。キャスリーン氏からは同社向けのオリジナルプログラム提供の意思が示された。